

さくらんぼの収穫

さくらんぼは生で食べるのがいちばんおいしいが、出荷期間は非常に短い。わが国の主要果樹のなかでも、栽培面積は才13位、生産量は才14位で、温州ミカンに比較すると、栽培面積では90分の1、生産量では270分1くらいに相当する。

ふだんはたいして手のかかる果樹ではないが、熟しはじめたら数日間で採ってしまわねばならず、そのうえ熟期が梅雨期にあたるので、裂果の被害が大きい。B-ナイン散布による熟期促進は、収穫期の幅を広げ、裂果の時期を回避するのに役立って、問題解決に貢献するところが大きい。

収穫作業の軽減はどこでも問題で、アメリカでは機械収穫とからんでエスレルなどの離層形成剤を試験しているし、ソ連では果実が枝から離れやすい品種の育成を進めている。この場合、果実だけがコロコロ落ちて、果梗は枝にのこるのである。ソ連では、果梗なしの果実が売られるのが普通だそうである。離層形成剤の利用ともいうことになれば、この種の果実が出まわることも覚悟せねばならない。

さくらんぼは、味だけでなく、見た目にも美しい。赤・黄・紫など多彩で、果実の宝石の観がある。北欧をはじめとし、諸外国では優良な品種が多いそうである。品種の導入や栽培上の問題点を解決することによって、今後の発展が望まれる果樹といえよう。加工品の利用面も多く、この点でも有望である。

農林省園芸試験場果樹部長 大畑徳輔

目次

葉菜類と除草剤

1. カンラン 2
2. ハクサイ 4
3. レタス 6
4. ホウレンソウ 7
5. セルリー 7
6. パセリー 8
7. ミツバ 8

農林省園芸試験場興津支場

栗山尚志

新登録除草剤一覧

農林省農政局植物防疫課 9

新登録生育調節剤一覧

農林省農政局植物防疫課 9

昭和44年度秋冬作そ菜・花卉関係

除草剤、生育調節剤試験成績概要(1)

(財) 日本植物調節剤研究協会 10

新除草・調節剤

C-7019除草剤 16

植調才4巻3号には、埼玉県園芸試験場より「イチゴ園の雑草防除」についての原稿をいただき掲載する予定でありましたが、取材が間に合わず、次号に掲載することになりました。何とぞご了承下さいますようお願いいたします。